

研究テーマ	図画工作科学習における 伝え合いを重視した鑑賞活動の工夫と展開 ～交流タイムを取り入れた第6学年「自分の思いを額縁とともに」の実践を通して～
-------	---

結城市立城南小学校 教諭 太田 千秋

## I 研究テーマについて

小学校学習指導要領解説図画工作編（平成20年8月）「B鑑賞」には、「イ 感じたことや思ったことを話したり，友人と話し合ったりするなどして，表し方の変化，表現の意図や特徴などをとらえること。」と示されている。また，〔共通事項〕として，「イ 形や色などの造形的な特徴を基に，自分のイメージをもつこと。」と示されている。中でも，自分の思いを語り合ったり，自分の価値意識をもって批評し合ったりする言語活動を通して，鑑賞の指導の充実を図り，感じ取る力や思考する力を一層豊かに育むことが強調されている。さらに，生活のなかの造形や美術の働きに関心を持ち，生涯にわたって主体的にかかわっていかうとする態度を育むことも，一層重視している。

これらのことから，これまで行ってきた創作活動重視の学習の流れの中に，鑑賞活動を意識して組み込んでいかうと考えた。学習時間の中に交流タイムを取り入れ，児童が対話をしながらお互いの作品について考え，伝え合うことによって，自分や友だちの作品の表現の意図や特徴にこれまでよりもさらに深く気付くことができるであろうと考えた。また，題材を工夫し，作品が完成した後家庭に持ち帰り，自分の生活空間のどこに作品を飾るのか考えさせることにより，生活のなかの造形や美術の働きに関心をもつきっかけになるだろうと考える。

## II 研究の実際

### 1 題材名 自分の思いを額縁とともに

### 2 題材の目標

- 卒業に当たっての自分の思いを作品に表そうとする。 (関心・意欲・態度)
- 額縁の模様と好きな言葉の文字のデザインを考え，全体のバランスを考えて構成することができる。 (発想や構想の能力)
- 彫刻刀の使い方を工夫し，額縁の模様を浮き彫りにしたり，好きな言葉の文字にふさわしいかたちをデザインしたりすることができる。 (創造的な技能)
- お互いの作品を鑑賞し合い，自分の作品に込めた思いを伝えたり，友だちの作品のよさを感じ取って伝えたりすることができる。 (鑑賞の能力)
- ※ 葉の文字の形や言葉の意味から受ける感じを基に，製作する作品の色や形，全体の雰囲気イメージして，自分の作品のテーマを決めることができる。 (共通事項)

### 3 題材について

本題材は，小学校生活をまもなく終えようとしている6年生児童の卒業製作をかねて設定したものである。この題材では，木彫の額縁づくり，自分の思いを表す言葉の文字のデザイン画そして篆刻の3つの製作を1つの作品としてまとめている。額縁づくりは，市販教材の写真立て用木彫額縁を利用し，模様をデザインして浮き彫りを施す。文字のデザイン画は，自分の思いを表す言葉をそのイメージに合うようデザインし，水彩画用紙にかいて彩色した上で，自分

の名前を篆刻した印を押して額縁に納める。3つの作品を1つにまとめたとき、作品全体が自分のイメージに合っているよう、導入時に仕上がりを十分イメージさせることが大切である。

これまで授業の中に取り入れてきたミニ鑑賞タイムで、友だちの作品から刺激を受けて製作に新たな意欲をもつことができたり、友だちの製作の様子から自分の製作のヒントをもらったりしていたが、この題材ではミニ交流タイムを意図的に設ける。ミニ交流タイムでは、鑑賞タイムの目的に、自分の思いを言葉にして伝え合う視点を新たに加えた。自分の製作についての思いを友だちに言葉で伝え、友だちから自分の製作についての意見や質問を得ることで、新たな見方や発見、気付きが生まれることを期待したい。そして、交流タイムで伝え合ったことを製作に生かし、自分の作品づくりに自信をもち、自分の作品に対して愛着がもてるようにしていきたい。

#### 4 題材の評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自分が表したい作品のおおよそのイメージをもち、自分の作品のテーマを決めようとする。	自分のテーマに合う文字や額縁のデザインを考えたり、文字の意味から自分のイメージする形や模様を考えたりすることができる。	自分のイメージに合う色やかたちを工夫して、浮き彫りや文字のデザインをすることができる。	作品を鑑賞し合い、自分の作品や友だちの作品のよいところを見つけ、伝え合うことができる。

#### 5 指導と評価の計画 (12時間扱い)

時間	学習内容・活動	評価基準・【評価方法】
第1次②	○ 卒業製作の作品づくりの計画をし、自分のイメージから、作品のテーマを考える。	自分が表したい作品のおおよそのイメージをもち、自分の作品のテーマを決めようとする。 関【観察・ワークシート】
第2次③ ※本時はその1	○ 自分の選んだ言葉の文字をデザインする。 ○ 彩色する。	自分のテーマに合う文字のデザインを考え、言葉の文字をその意味や自分のイメージする形や模様に工夫して表すことができる。想【観察・ワークシート】 創【観察・ワークシート作品】
第3次⑥	○ テーマに合う額縁のデザインを考える。 ○ 彫刻刀のそれぞれの彫りの特徴に気付き、工夫して浮き彫りをする。	自分のテーマに合う額縁のデザインを考え、自分のイメージする形や模様に工夫して表すことができる。想【観察・ワークシート】 創【観察・ワークシート・作品】
第4次①	○ 作品を鑑賞し合い、友だちの作品のよさを伝えたり、自分の作品に込めた思いを伝えたりする。	作品を鑑賞し合い、自分の作品や友だちの作品のよいところを見つけ、伝え合うことができる。鑑【観察・ワークシート】

## 6 指導の実際

### (1) 本時の展開

#### ① 目 標

言葉の意味と文字の形から受けるイメージから、自分の思いを表す言葉のデザインを考  
えることができる。

#### ② 準備・資料

ワークプリント・国語辞典・色鉛筆・絵の具・参考作品・色見本の掲示物  
ワトソン紙 (写真サイズ)・トレーシングペーパー

#### ③ 展 開

学習活動及び内容	指導・支援と評価
1 学習課題を確認する。	
額縁に入れて飾る「自分の思いを表す言葉」のデザインを、自分のテーマに沿って考えよ う。	